

旭小学校

かわら版

学校通信

- ・かしこい子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



令和3年1月12日号

明けましておめでとうございます

昨年は、本校の教育にご理解ご協力いただきありがとうございました。本年もよろしくお願いたします。新型コロナウイルス対策のため、数々の行事が変更、中止となりました。保護者のみな様には例年に増して、ご理解ご協力いただいたことを感謝いたします。

7日(木)に放送により各教室で始業式が行われ、新しい学期がスタートしました。子どもたちの元気に登校した様子から、充実した冬休みを過ごしたことと思われま。

新しい年を迎えるというのは、これから明るくなってくる、何かが始まるということだといえます。子どもたちにとって学年最後の学期であると同時に、新しい学年に向けて何かを始める時ともいえます。感染予防のため、例年通りとは行かないことも多いですが、3学期がどの子にとってもよいスタートを切れる時期となってほしいと思います。そのために職員一同気持ちを新たに取組んでまいります。



書き初め大会

新年初めの1週目に各学年で書き初めを行いました。1, 2年生はフェルトペンで書きます。3年生以上は体育館で互いの距離を取り換気しながら、条幅に毛筆で書き初めをします。自分の書いた字をきれいに表装して教室や廊下に展示します。お出でいただく機会がありませんが、力作揃いです。

工事のお知らせ

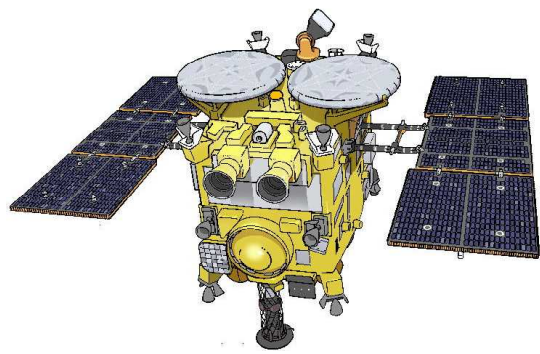
学校北側の土地に埋め立てのため今週末から1月ほど工事車両が出入りします。通学路の変更はありませんが、送迎等で北側道路を通る場合にはご注意ください。

— 始業式でのお話

新年明けましておめでとうございます。

冬休みはいかがでしたか。

さて、終業式にお話しした2つのこと「よかったことを思い出して感謝を行動で表す」と「何か一つ新しく挑戦することを考える」は、実行できたでしょうか。まだの人は、ぜひ今日実行してください。



昨年のニュースの中で明るい話題の一つにははやぶさ2が小惑星から土を持ち帰ったというものがあります。テレビで見た人もいるかも知れませんが、あんなに小さな箱を砂漠の中で見つけるというのは、すごいことだと思います。しかし、よく考えてみれば、3億kmも離れたところにある直径900m(旭小学区の4分の1位の大きさ)の宇宙全体から見るとゴミのような小さい小さい石に到着できるということは、とても大変なことです。持ち帰った土によって宇宙や地球の誕生のようすを知る大きな手がかりとなるでしょう。

はやぶさ2のプロジェクトマネジャーの津田雄一さんは、この計画の意味をこう書いています。「大人はすごいことをやっている。とんでもないことに挑戦し、面白い未来を作っている。未来には希望がしっかりあり、大人になることは楽しいことだ。そう子どもたちに感じてほしい」と。

新型コロナウイルスによって、今まで普通にできていたことができなくなりました。「これからどうなるのだろう」と心配になる人もいるかも知れません。しかし、人類はこれまで何度もこうした苦しいことに出会い、そのたびにみんなで知恵を出し合って乗り越えてきました。きっと、ウイルスを押さえ込むことにも成功するでしょう。しかし、これまで人類は何もしないで課題を解決できたわけではありません。とても大変だ、ムリだということにもあきらめずに、みんなで挑戦した結果なのです。

みなさんは、そのような人類の一人です。ですから、工夫や努力次第でいろいろなことができるはずです。それぞれが何かの「すばらしさ」をもった人間です。誰かと同じである必要はありません。「自分を輝かせる」ことが大事です。

さて、3学期は学年最後の学期です。新たなことに挑戦して、今の学年を気分よく終えましょう。それと、新しい学年に向けて自分を変えていきましょう。みなさんには、その力があるはずです。自信をもって取り組みましょう。

今学期も「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」を目指しましょう。